

# 地域の公共施設のあり方について ～これからの公共施設を考える～

平成30年9月29日



花野 古町 (はなの こまち)

新潟市の市花「チューリップ」がモチーフの  
とっても明るい元気な女の子です。

笹 団五郎 (ささ だんごろう)

新潟市の名物「笹団子」がモチーフの  
古町をいつも優しく見守る男の子です。

# 公共施設の総量

合計延床面積：約279万 $\text{m}^2$  (H28年度末 公有財産現在高通知書より)

これは・・・

・住宅(約110 $\text{m}^2$ )が約25,000戸分



・市役所本館(約23,000 $\text{m}^2$ )が121棟分



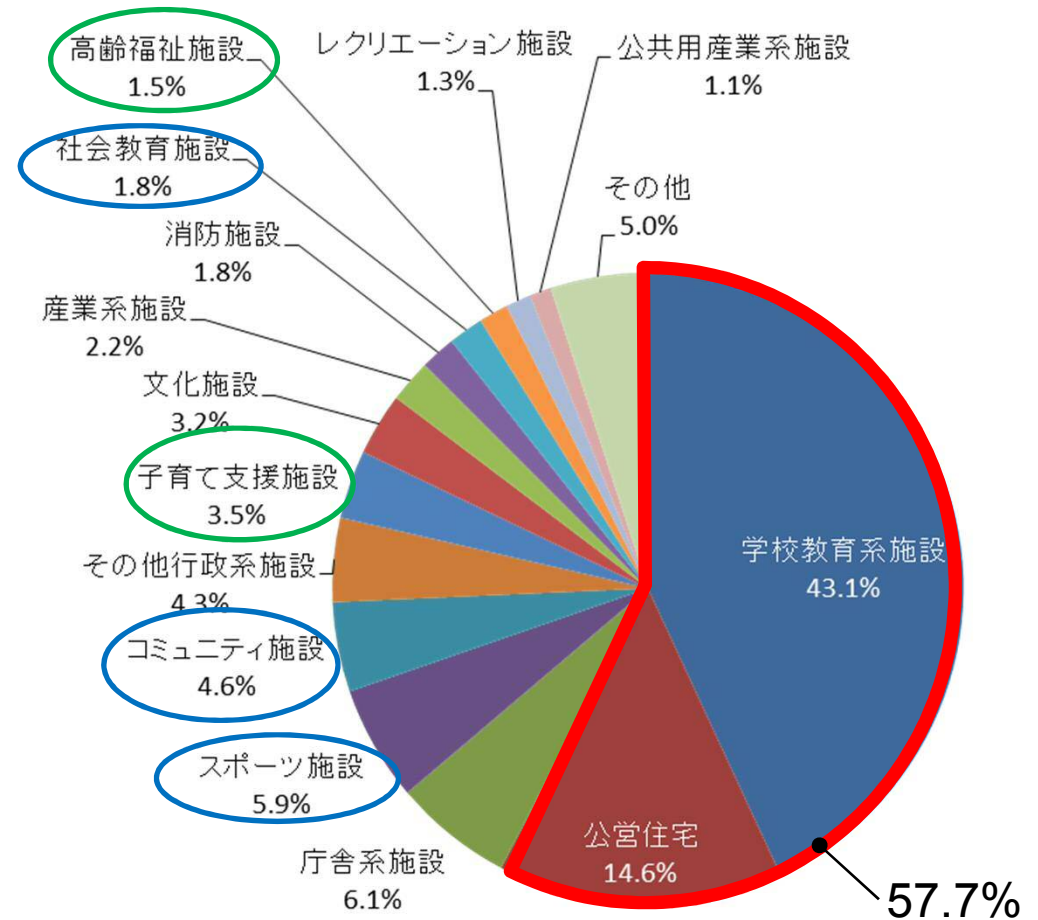
・東京ドーム(約47,000 $\text{m}^2$ )が59個分



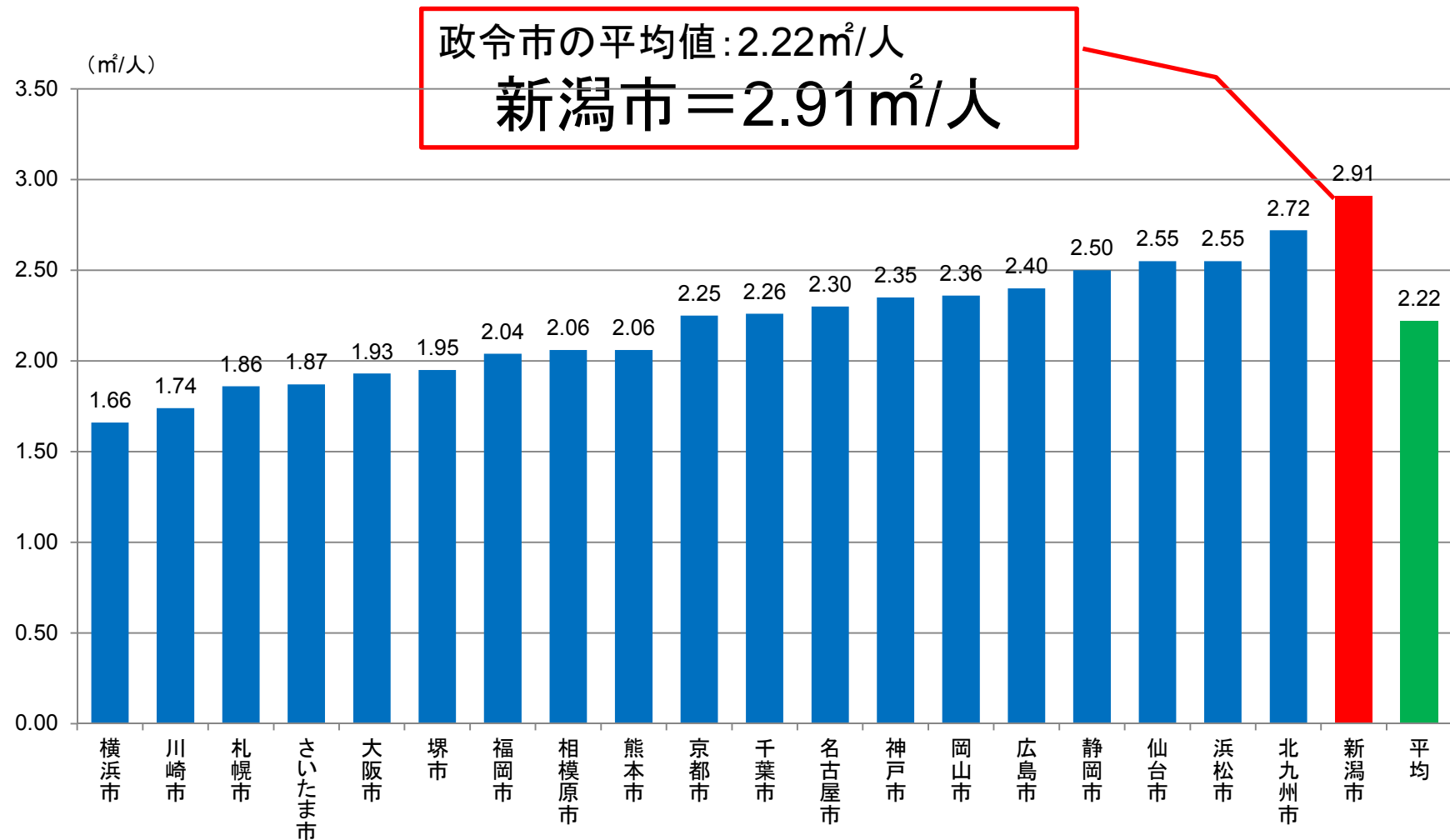
# 市有の建物(行政財産)の内訳

- 延床面積: 約273万㎡  
(施設数: 1,821施設)

- ・学校＋公営住宅で、約58%を占める
- ・地域に身近で誰でも使える施設  
(コミセン、図書館、体育館など)は、  
約12%
- ・地域に身近で利用者が特定の施設  
(保育園、老人憩の家など)は、  
約5%

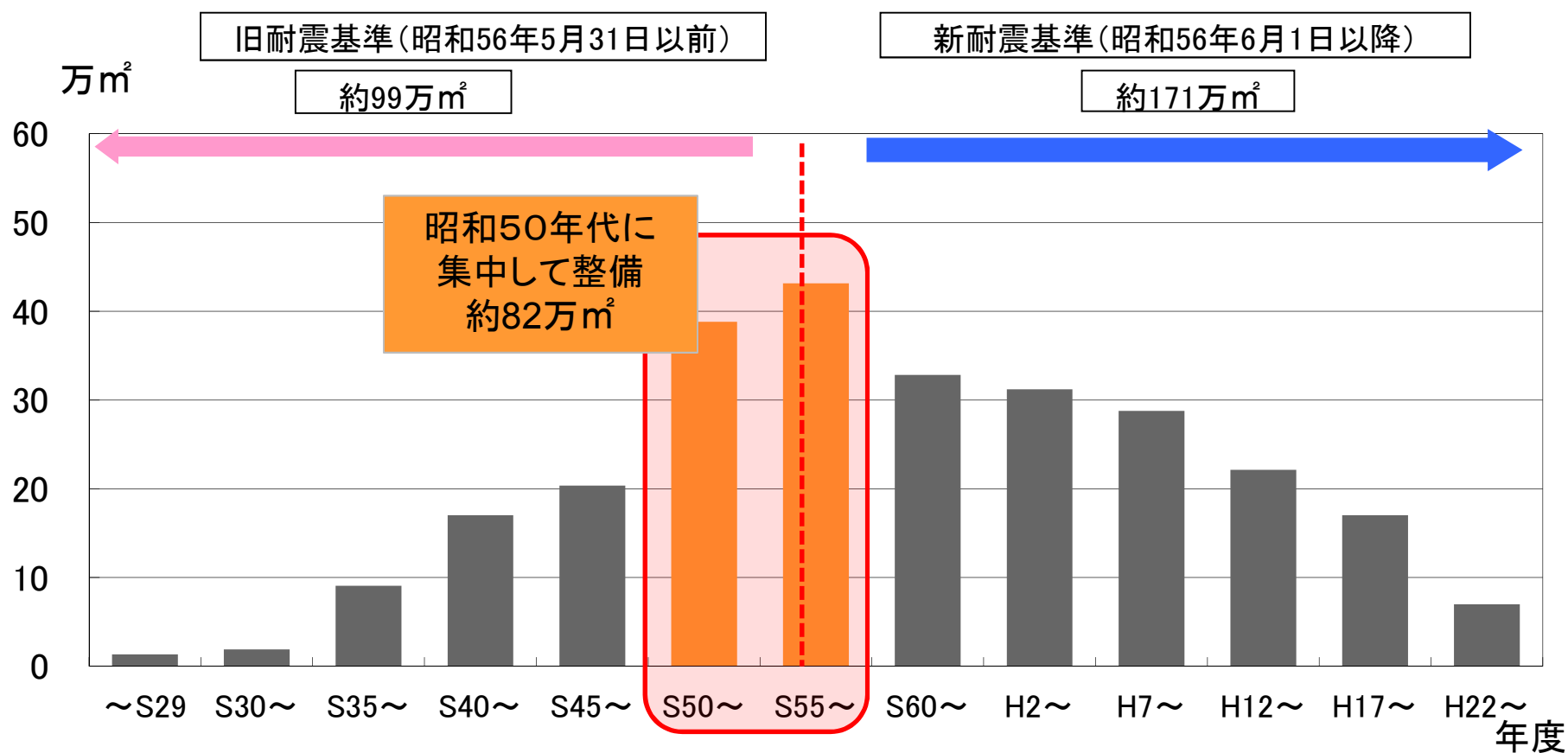


# 公営住宅を除くと、市民1人あたりの面積は最大

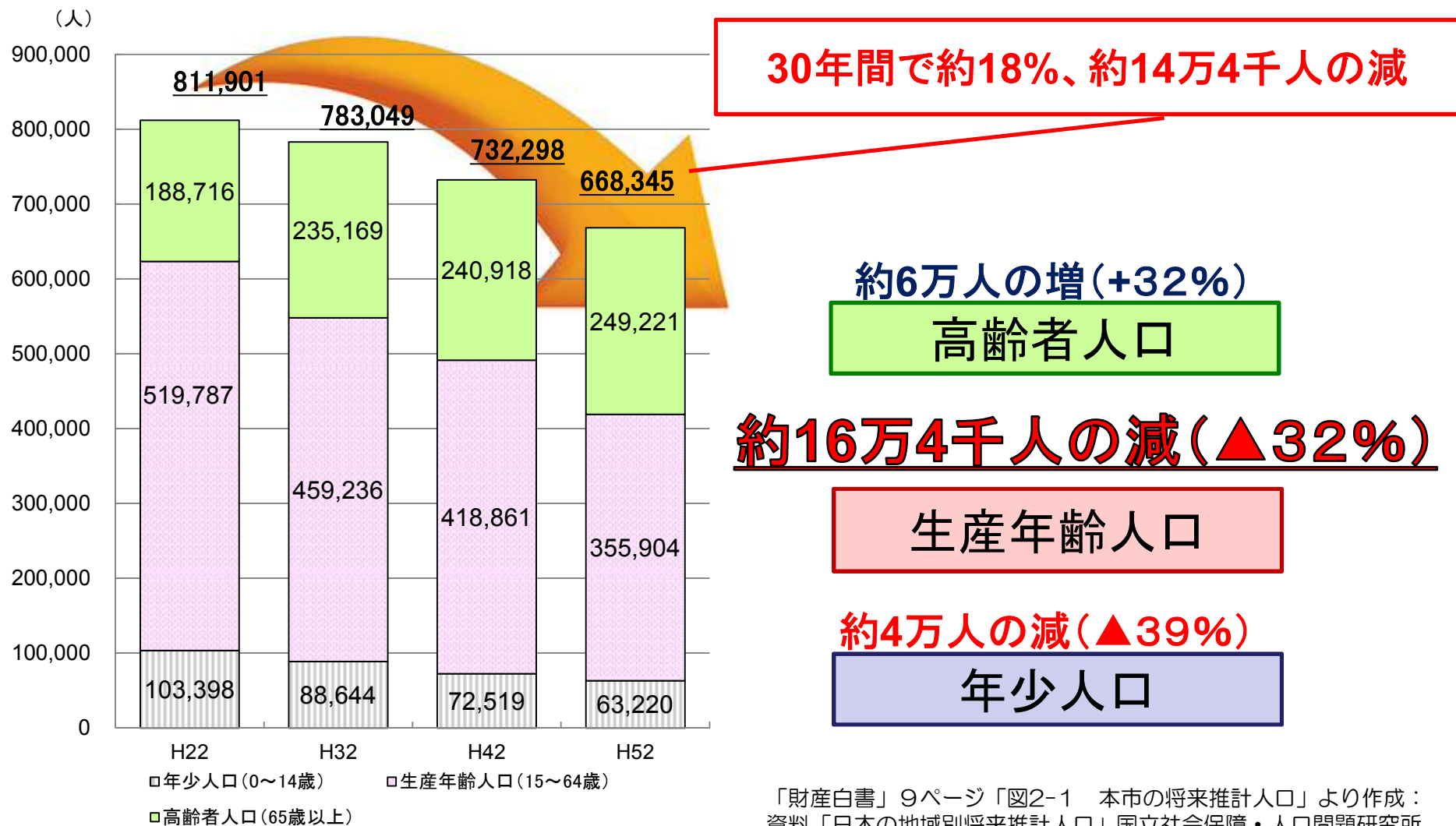


「財産白書（平成29年度版）」20ページ「図3-12 人口1人あたりの建物保有状況（公営住宅以外の行政財産）」より作成

# 昭和50年代に整備した施設(築後30年以上経過)の更新時期が迫る

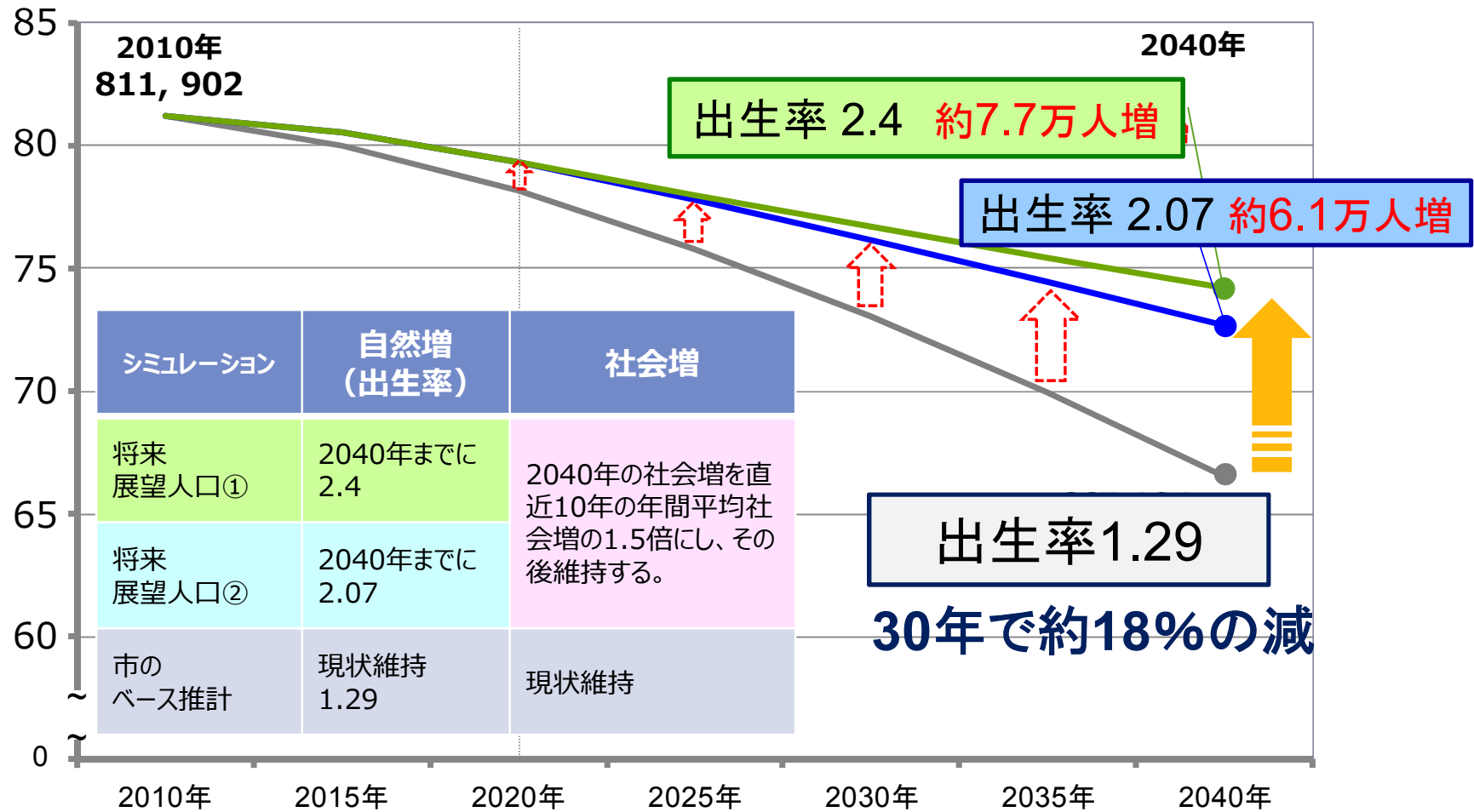


# 人口減少、少子・超高齢化の進行



# 新潟市の人口の将来展望

人口（万人）



「新潟市人口ビジョン」25ページより：平成27年10月 新潟市

## 公共施設の将来費用予測

シナリオ	今後50年間の 必要額	年平均の 必要額①	H17~24年 平均額②	年平均 不足額 ①—②
標準 建替周期60年	1兆2,233億円	245億円	121億円	▲124億円
長寿命化 建替周期80年	8,988億円	180億円		▲59億円

長寿命化しても、更新費用の大幅な不足が見込まれる。今ある施設を全てそのまま維持していくことは困難。



## 「財産白書」を作成

---

- 公共施設のコスト状況・利用状況・老朽化の状況などについて、**あるがままの姿をみえる化**
- 消防施設・上下水道施設・清掃施設・小規模施設などを除いた**917施設、約241万㎡が対象**（平成29年度版）



今後の公共施設のあり方について、市民の皆様とともに考えていくための資料として活用



## 各区の施設数

圏域 区分	中央区	西区	東区	秋葉区	北区	江南区	西蒲区	南区	計
I (市を代表する施設)	37	4	5	2	0	0	2	2	52
II (区を代表する施設)	20	9	6	13	7	11	16	11	93
III (地域に密着した施設)	101	106	82	69	80	84	112	75	709

公営住宅	13	8	18	8	3	4	8	1	63
計	171	127	111	92	90	99	138	89	917

圏域Ⅰ類：市民芸術文化会館、水族館など市を代表する施設

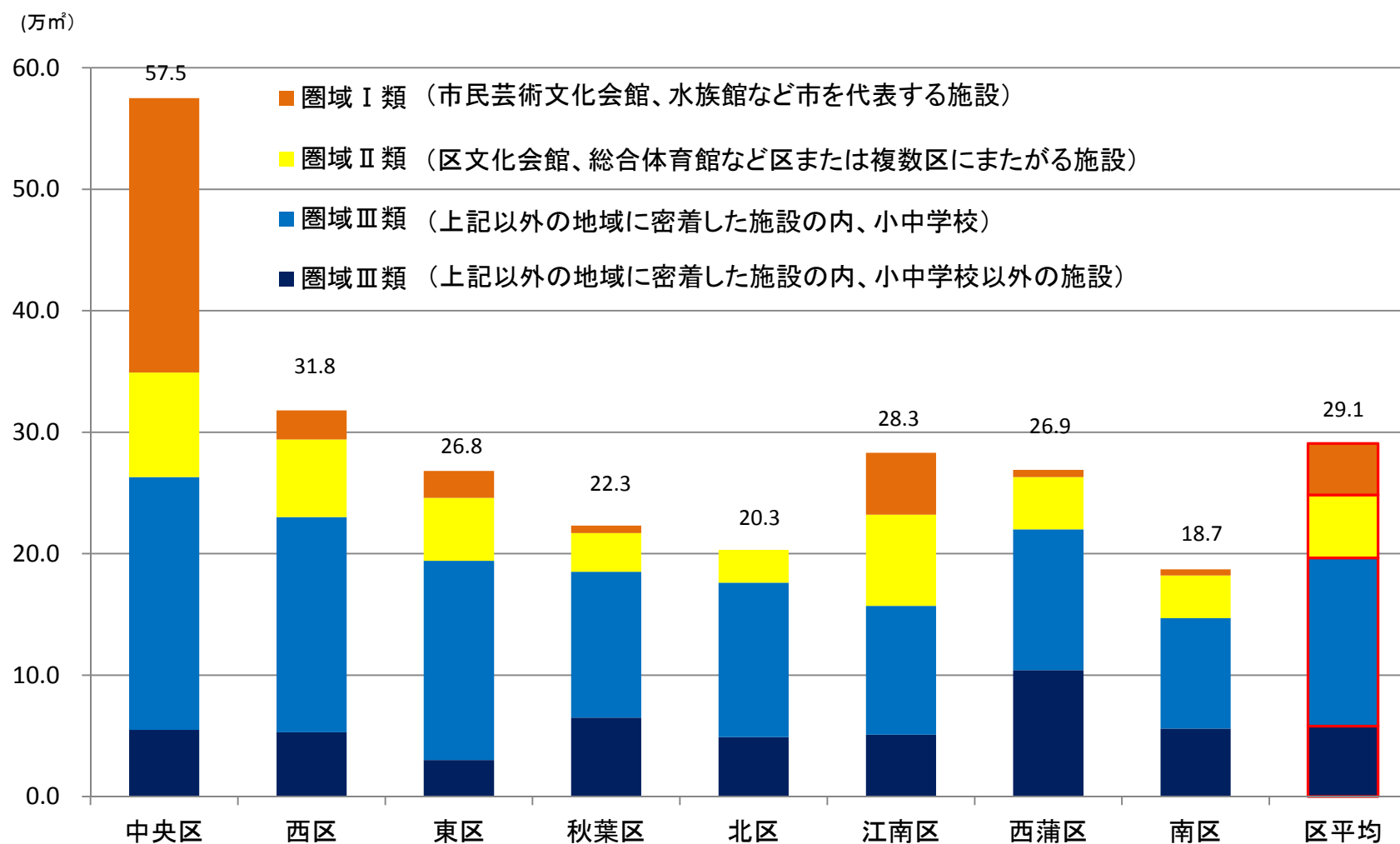
圏域Ⅱ類：区文化会館、総合体育館など区または複数区にまたがる施設

圏域Ⅲ類：コミセン、公民館、小中学校などⅠ類・Ⅱ類以外の地域に密着した施設

※条例が重複している施設は1施設として計上しています

H29施設カルテ調査より作成

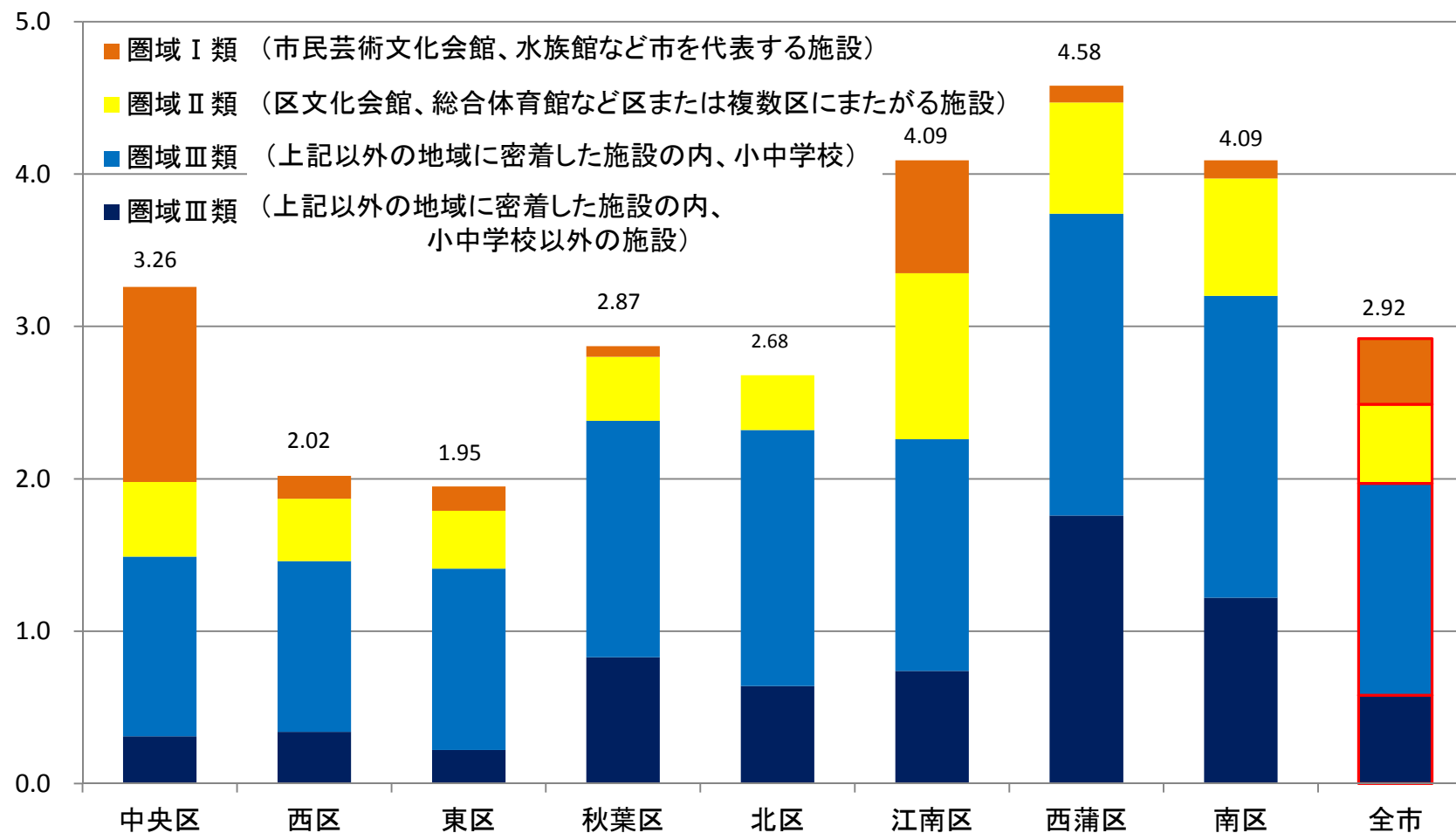
## 各区の施設延床面積(圏域Ⅰ～Ⅲ類)



「財産白書(平成29年度版)」21ページ「図3-14 各区の圏域別の建物保有状況(区人口順)」より作成

# 各区の人口1人あたりの建物保有状況

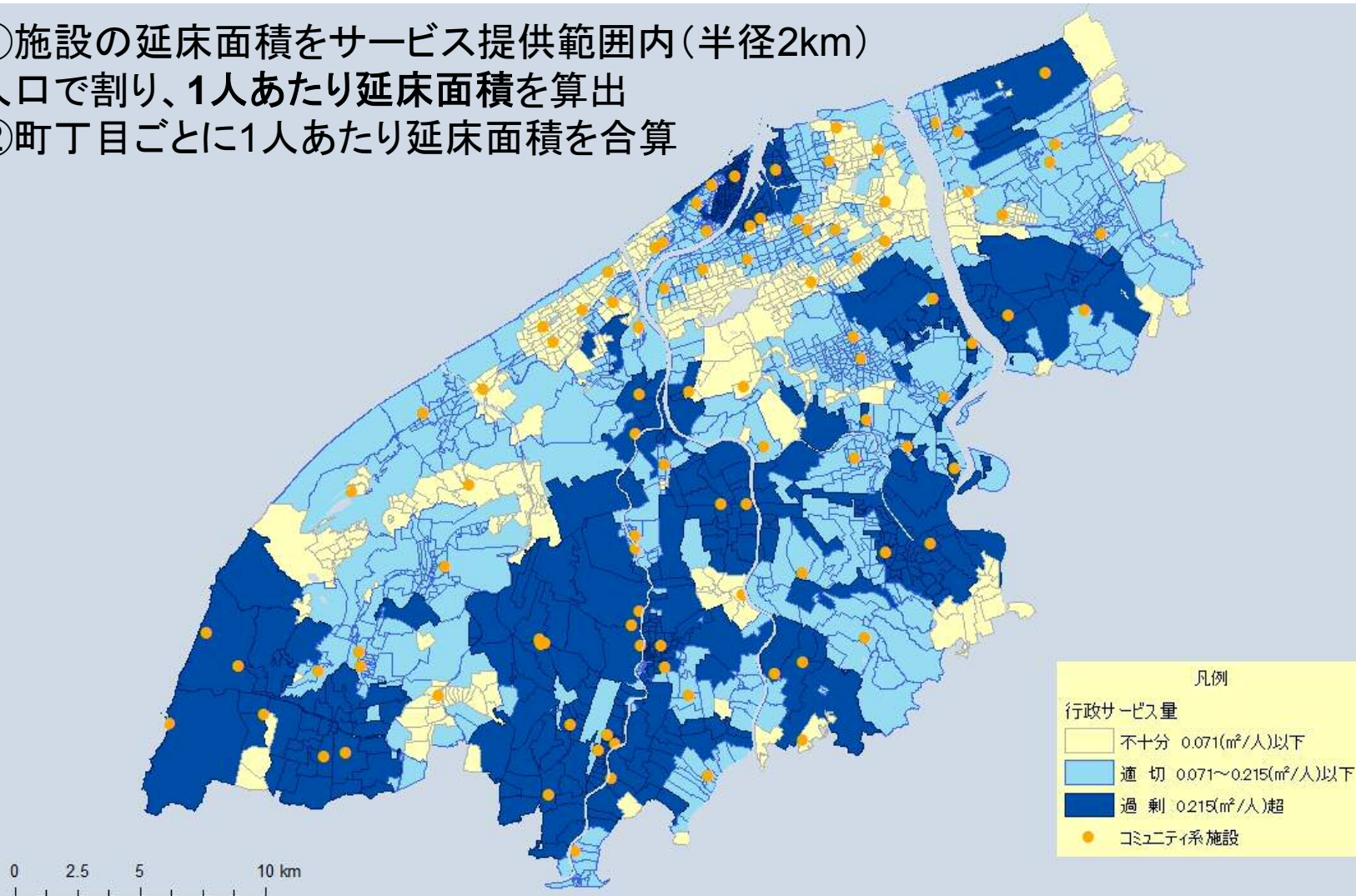
(㎡/人)



「財産白書（平成29年度版）」22ページ「図3-14 各区の圏域別の建物保有状況（区人口順）」より作成

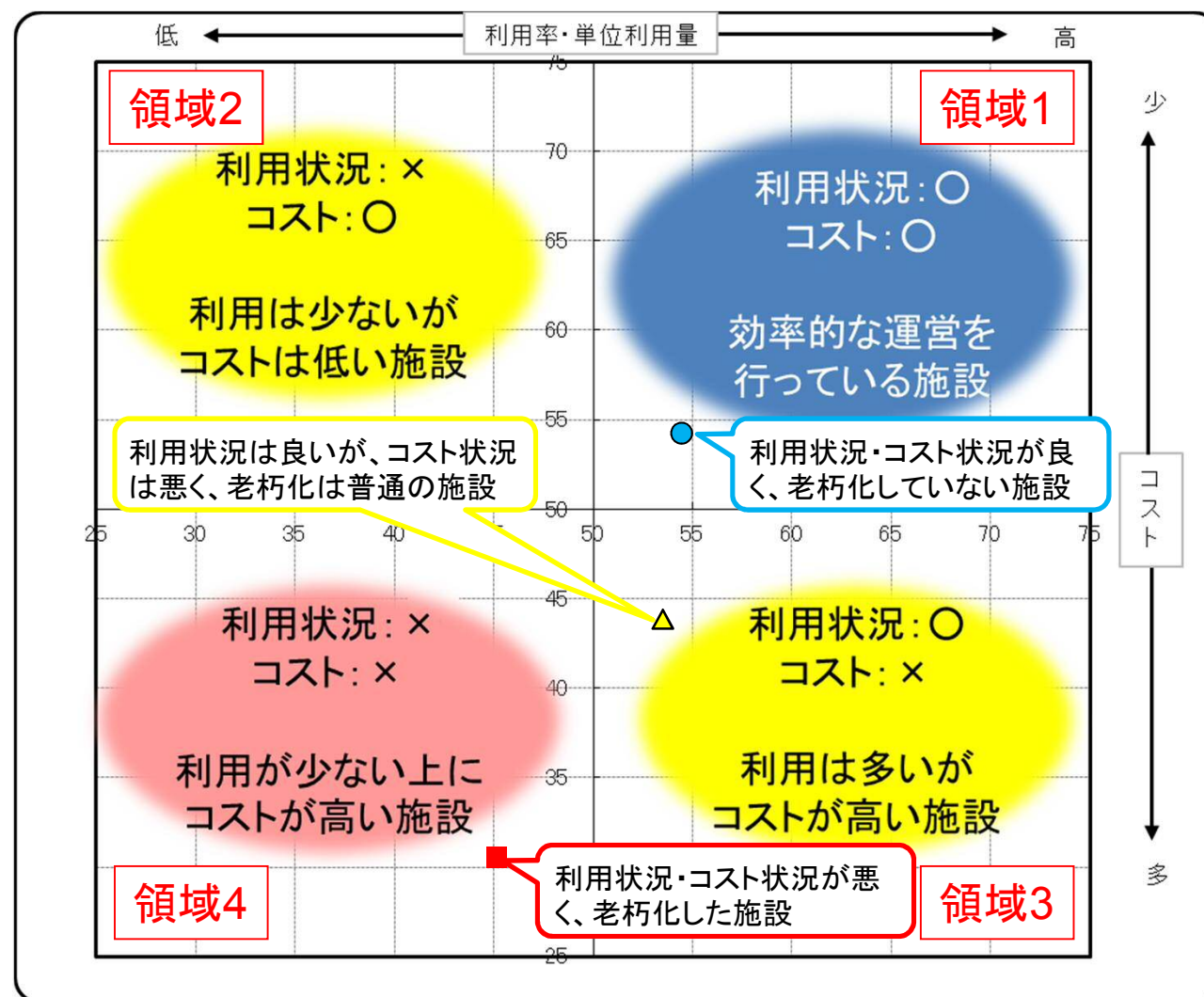
# 行政サービスの定量的評価(コミュニティ施設)

- ①施設の延床面積をサービス提供範囲内(半径2km)人口で割り、1人あたり延床面積を算出
- ②町丁目ごとに1人あたり延床面積を合算

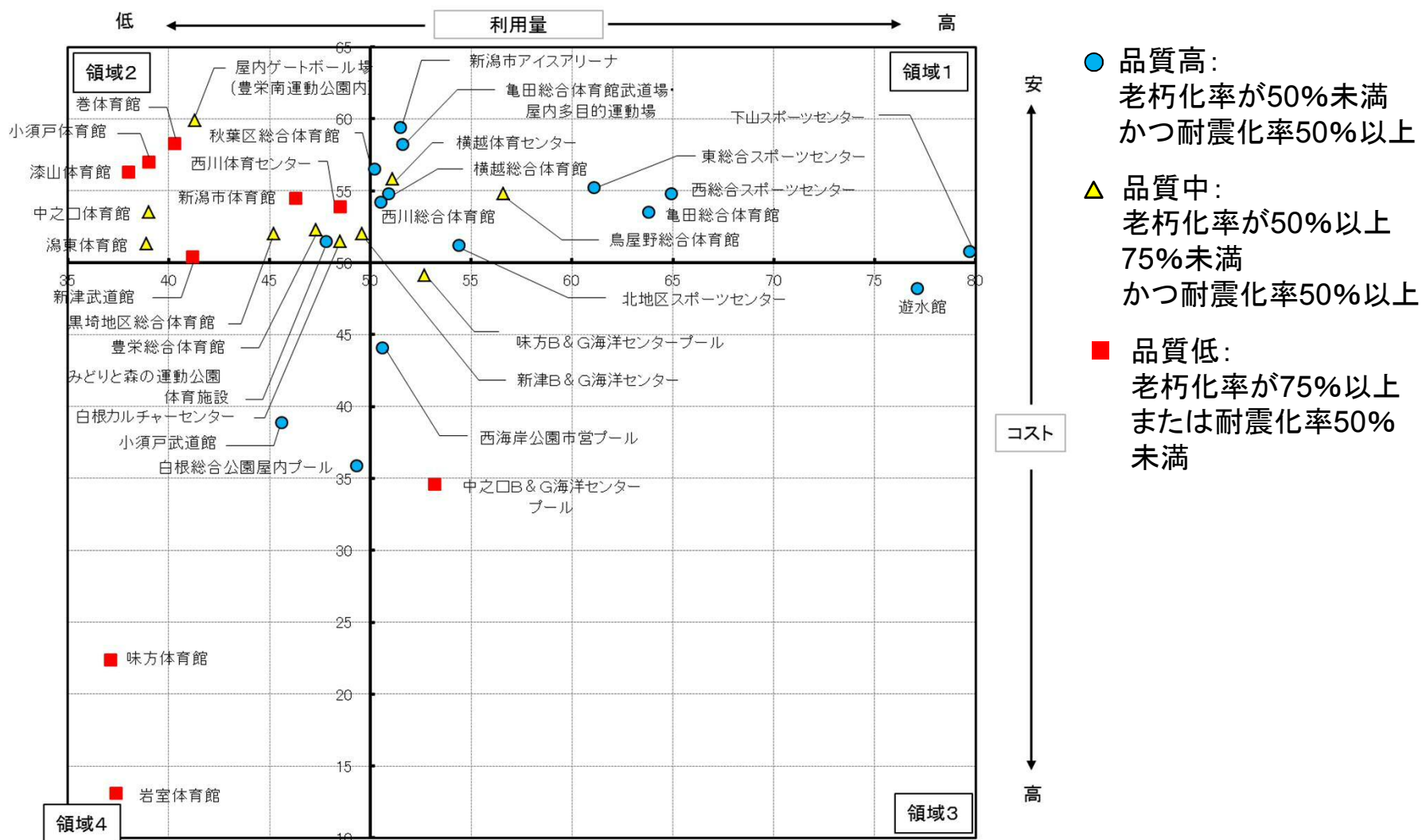


# 公共施設の状況分析

- 品質高:  
老朽化率が50%未満  
かつ耐震化率50%以上
- ▲ 品質中:  
老朽化率が50%以上75%  
未満  
かつ耐震化率50%以上
- 品質低:  
老朽化率が75%以上  
または耐震化率50%未満

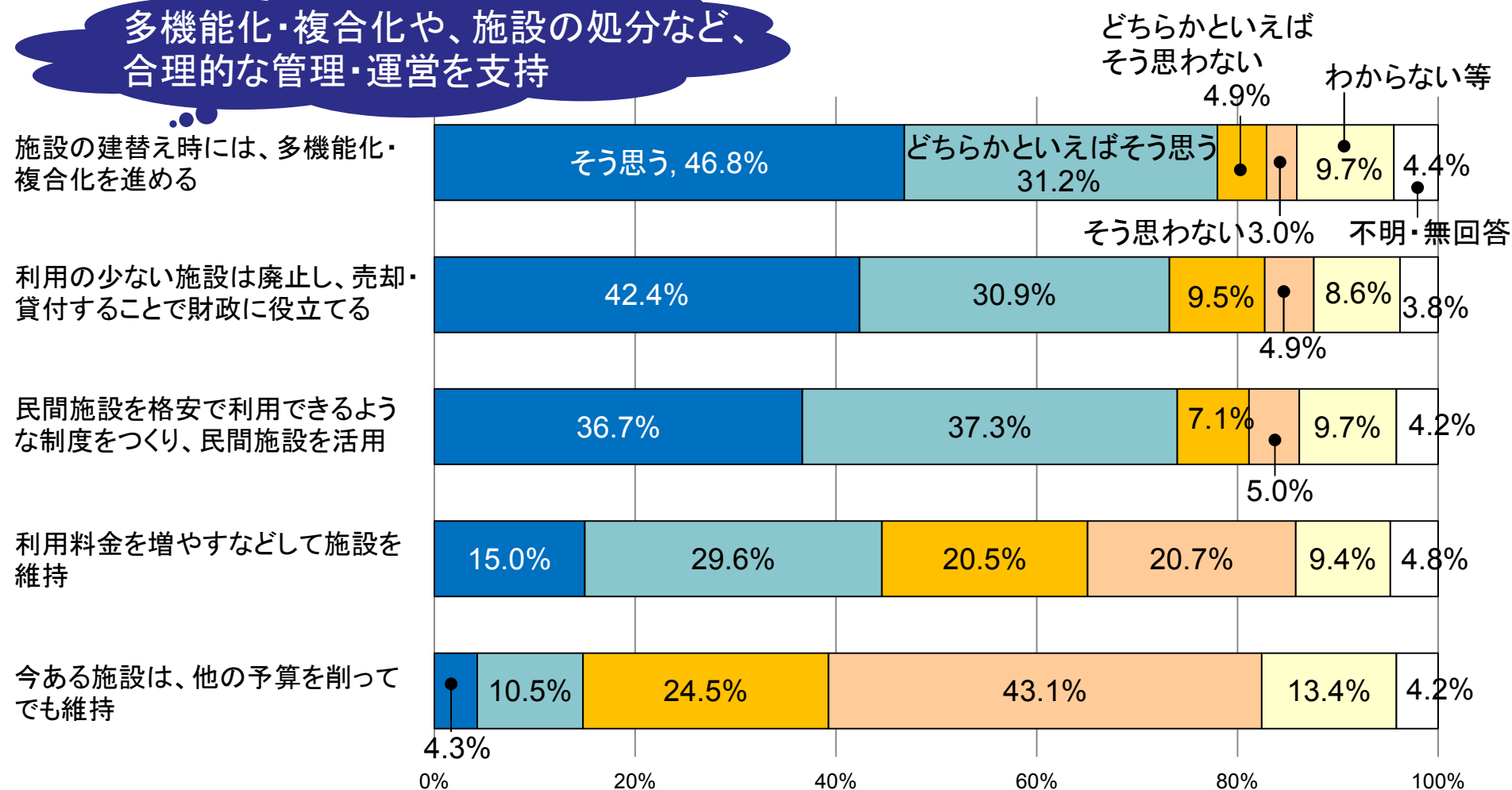


# スポーツ施設の利用状況・コスト状況は・・・



# 今後の公共施設はどうあるべきか？（アンケート）

多機能化・複合化や、施設の処分など、合理的な管理・運営を支持



※ 端数処理の関係で合計が100%にならない場合あり



# 「新潟市財産経営推進計画」を策定 (H27.7)

## 公共施設の基本方針

総量削減

サービス機能の維持



## 財産経営の4つの柱

### ①施設の最適化

既存施設の転用や多機能化・複合化、民間サービス代替など

### ②施設の長寿命化

定期的な点検・診断と保全などにより施設を長寿命化

### ③歳出の削減

施設の修繕・更新時期に合わせて施設規模の見直しや管理・運営の効率化などによりコスト削減

### ④歳入の確保

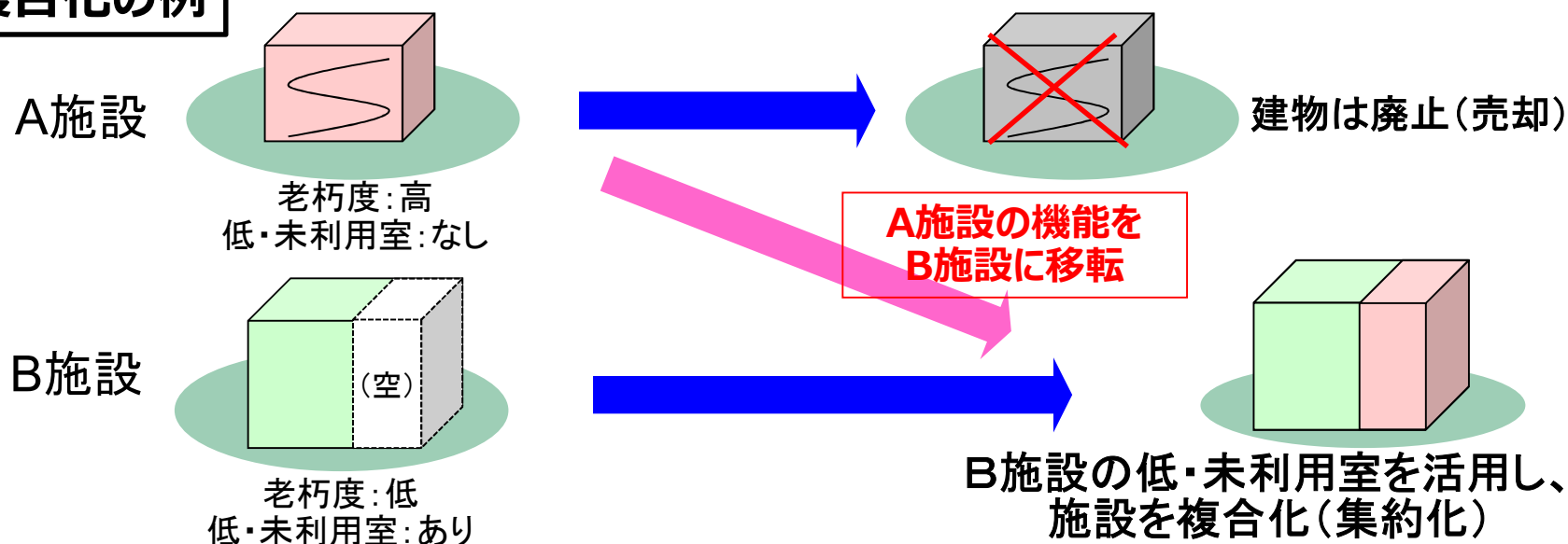
施設跡地など不要となった財産は、売却・貸付などにより歳入確保

## 【柱① 施設の最適化】最適化のイメージ

- 手法1 既存施設の多機能化・複合化
- 手法2 改築・大規模改修による集約化
- 手法3 廃止施設の用途転用
- 手法4 各施設の相互連携やソフトでの対応等(運用上の工夫)

.....など

### 複合化の例



## 【柱① 施設の最適化】地域別実行計画づくり

- **地域単位で公共施設の最適化を検討し、実行計画を策定**
- **中学校区を基本として、55の地域ごとに策定**
- **学校の統合など、公共施設に動きのある地域から順次着手**
- **市内99コミュニティ協議会に財産経営の必要性を説明し、希望のある地域は優先的に着手**

### 地域別の実行計画とは

- 地域全体の公共施設の将来のあり方を検討し、施設総量が削減されてもサービス機能をできるだけ維持するための計画
- 計画の策定にあたっては、地域の皆さまと市との**協働**により進める

# 地域別実行計画の策定に向けて

- 計画策定に着手する段階から、地域のみなさんのご意見をワークショップをはじめさまざまな方法で伺い、市の検討に反映させる

## ワークショップ



## 広報紙

新潟市  
財産経営NEWS  
第6号

発行所  
新潟県実行計画推進センター（2F）企画課  
（江崎区地域課） ☎025-382-4619  
市財政局庶務課 ☎025-226-2387  
平成29年8月発行

計画(案)が作成されました！  
**曾野木のまちづくり**  
～公共施設のこれから～

ワークショップなどで得られたみなさんのご意見をもとに、「曾野木地域実行計画（案）」が作成されました。  
ぜひ紙面をご覧ください、ご意見をお寄せください！

計画(案)の詳細は、次のページにあります！

公共施設のあり方について、検討を重ねてきました

曾野木地域では、市営住宅跡地活用の検討や、曾野木・第二曾野木保育園の老朽化による統合の検討をきっかけとして、地域の公共施設のこれからの考えるワークショップが全4回開催されました。  
ワークショップをはじめ、広報紙・パネル展示型説明会などで得られたご意見を検討に反映させ、「曾野木地域実行計画（案）」が作成されました。

現在、ごさまで進んでいます！  
ご意見を伺う最後の機会です！

市が検討する  
内容の手順  
(ステップ)

進め方

10/7  
第1回ワークショップ

12/3  
第2回ワークショップ

2/12  
第3回ワークショップ

5/20  
第4回ワークショップ

2月～3月 コミュニティ会議  
(自治会や保護者団体など、  
関係団体・意見聴取)

地域の  
みなさん  
のご意見を伺う場

ご意見をお寄せください！  
連絡先は最後のページ！

H28.8月～H29.6月 広報紙1～5号発行  
H28.12月 パネル展示型説明会開催

8月(本紙)  
広報紙  
第6号

## パネル展示



# 策定済みの地域別実行計画の概要

市民との協働により、まちづくりの視点を取り入れて計画を策定

- 地域別実行計画は、単に施設の整備方針を示すだけでなく、再編を通じ地域の課題やニーズにどう応えていくかについても明記している。

<p>潟東地域 (H28.10)</p>	<p>曾野木地域 (H29.12)</p>	<p>葛塚地域 (H30.1)</p>
<p>3小学校の統廃合を契機とした地域内施設の最適化</p>	<p>市営住宅跡地の有効活用と保育園の統合</p>	<p>北区役所庁舎の移転と小学校の統廃合による跡地活用</p>
<p>・地域が大事にする祭の開催に配慮した施設配置</p> 	<p>・コミュニティ拠点・保育園等の機能が複合化され、多世代交流が期待</p> 	<p>・新庁舎の整備エリア内にある公共施設の機能を連携させて相乗効果を生み出し、各種地域活動団体と協働したサービス提供システムを構築</p> 

## 地域別実行計画づくりは・・・

課題や望ましい将来の姿について、  
地域にお住まいのみなさんで考える

多機能化・複合化などを実行

- 地域への愛着が増す
- 地域のニーズが反映され、施設を利用する機会が増える

- 利便性が向上する
- 異なる用途の施設がまとまることで、多世代交流が生まれる



**地域のこれからを考えるチャンスです！**



# 地域別実行計画（西蒲区 潟東地域）

## 新潟市財産経営推進計画

## 潟東地域実行計画

### 【背景】

潟東地区では、3小学校の統合を契機として、公共施設のこれからを考えるワークショップを、平成27年8月から平成28年7月まで開催してきました。市では、ワークショップなどで得られた成果をもとに、公共施設の将来のあり方を示す「潟東地域実行計画」を策定しました。

### 公共施設の再編計画

#### 【コンセプト】

潟東体育館をコミセンに転用し、中心部をコンパクトにまとめつつ地域活性化・多世代交流を図る

#### 【概要】

- 潟東体育館を増築し、従来のスポーツ機能に加え、調理室などコミュニティ機能を複合し、コミセン化
- 改善センター跡地は、駐車場として整備
- 旧東小・西小は、地域の活性化に資するテーマを設定し、売却または貸付（民間活用）
- 旧小学校を民間活用する際は、一時避難場所とすることを条件（旧西小・南小は短期滞在も条件）
- 旧南小の活用方法は、引き続き検討

#### 【効果】

- 潟東体育館に施設が集約されコミセン化するとともに、駐車場も拡充されることで、中心性、拠点性、祭り時の使い勝手が向上し、賑わいや多世代交流が期待
- 学校跡地の民間活用による地域の活性化が期待
- 施設総量が縮減され、将来世代の負担軽減

注) コミセン：コミュニティセンターの略称



併せて検討

### 【再編の実施時期】

主要な施設の再編および民間への移管については、平成29年度から具体的な検討に着手し、5年を目途に再編を実施することとします。また、詳細な検討の進捗状況や、財政状況などにより、適宜見直しを行うこととします。

### 再編スケジュール

※見直しにより変更となる場合があります

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
潟東体育館	存続	体育館への集約化に向けた構想・設計	廃止に向け準備	改修・増築工事	コミセンとして利用	
農村環境改善センター	廃止			廃止に向け準備	廃止	廃止
生活体験館	廃止				除却し駐車場として整備	売却・貸付
潟東ゆう学館	存続	専業の機能受け入れに向けた整理・調整・検討			ゆう学館として存続	
生きがいルーム専業	廃止	機能移転に向けた準備			廃止に向け準備	廃止
ゲートボール場	廃止				体育館横に整備	
潟東小学校	新設	敷地内への新設小整備に向けた設計		工事	新設小利用開始 ひまわり複合化	
潟東中学校	存続	民間活用に向けた準備		農業をテーマとした民間活用 (一時避難場所とする協定締結)		
旧東小学校	廃止	民間活用に向けた準備		スポーツをテーマとした民間活用 (一時避難場所・短期避難場所とする協定締結)		
旧西小学校	廃止	民間活用に向けた準備		潟東小学校として利用 活用方法継続検討		
旧南小学校	検討	潟東小学校として利用 活用方法継続検討			検討内容を実施	
ひまわりクラブ	廃止	存続			廃止 売却・貸付	
潟東出張所	存続	健康センターの機能受け入れに向けた準備		改修工事	出張所として存続 健康センター複合化	
健康センター・サービスセンター	移譲	民間移譲を検討			民間移譲	
美術館・資料館・物産館	存続	運営方法について検討		検討内容を実施		
給食センター	存続	存続				

### 【今後の進め方】

詳細な検討を行う中で、必要な機能を確認し、機能の維持に努めます。跡地については、民間事業者の意向調査を実施するなど可能性を把握します。また、事業者の選定にあたっての条件整理は、地域のみなさんとの協働で行い、将来像が分かるように進めます。